

支援機関との繋がりがない小規模事業者への資金確保に関する支援

灯鳥(ぼとり)

(山梨県)

オーガニックレストラン灯鳥の経営と灯鳥オーガニックバザールの雑貨類販売

1. 相談のきっかけ

- ・繁忙期に向けた運転資金が不足していたが、今まで借入経験がなかったこと、及び商工会などの組織に加入していないことから、どこに相談してよいか分からずにいた。
- ・このような状況のときに、よろず支援拠点の開設記事が目にとまり、相談に至った。



2. 課題整理・分析

- ・経営状況は安定しており、固定客も多い。
- ・レストランでは地元産食材を活用しており、地域との緊密な繋がりがある。
- ・例年の繁忙期である5月の連休から秋の行楽シーズンまで、多くの来客が見込める。
- ・しかし、平成25年後半からの降雪による売上減少が響き、運転資金の確保が厳しい状況となっている。



3. 解決策の提案

- ・繁忙期の売上が見込めること、外部要因による一時的な運転資金の不足であること、及び今後も継続的な支援が必要と思われることから、地元商工会を通じてマル経資金の活用を提案した。



4. 成果

- ・地元商工会を通じて申し込んだマル経資金が活用できることになり、運転資金の確保が図られた。
- ・今まで組織に加入しておらず、相談先に苦慮していたが、地元商工会に加入したことで、継続的な支援が可能となり、より安定的な経営が可能となった。
- ・当事業者は、地域との緊密な繋がりがあり、商品開発力があることから、独自商品の開発など今後も支援が見込まれる。

